西脇まちなか歩こうMap

のこぎり屋根の建物

西脇は先染織物の「播州織(ばんしゅうおり)」で知られています。町のあちこちに見られる“のこぎり屋根の建物は、多くが「はた織り工場」として建てられたものです。太陽の位置に関係なく、一日中内部が同じ明るさになるよう、すべて窓は北向きに造られています。

横尾忠則Y字路

西脇は画家、横尾忠則さんの出身地です。横尾さんは「Y字路」をテーマに数々の作品を描いておられますが、その出発点となった場所をはじめ、多くが西脇のまちなかに集まっています。06年4月初旅案内の画集「Y字路」を片手にぜひぶらってみてください。

播州ラーメン

播磨の女子高生業員に喜んでもらおうと考案された**少し甘めのスープ**が特徴。元祖「西脇大橋ラーメン」をはじめ、各店独自の味をつくりあげていますので、食べ歩いてみてください。

- 飲食店
- 菓子など販売
- 宿泊施設
- 史跡
- トイレ
- 駐車場
- 金融機関
- 郵便局
- 銭湯
- コンビニ
- バス停
- ガソリンスタンド
- 市立西脇病院
- 太鼓蔵

0m 100m 200m 300m

歩くモデルコース 来住邸から出発!

30分コース 来住邸 → ふれ逢い鯉ロード → 吉田稲荷 → 大明神 → Y字路の原点 → 路地地 → 来住邸

40分コース 来住邸 → 杉原川河川敷 → 川下神社 → 商店街・路地地 → 来住邸

45分コース 来住邸 → ふれ逢い鯉ロード → 路地地 → 大島みち子さんが通った西脇郵地 → 童子山 → 来住邸

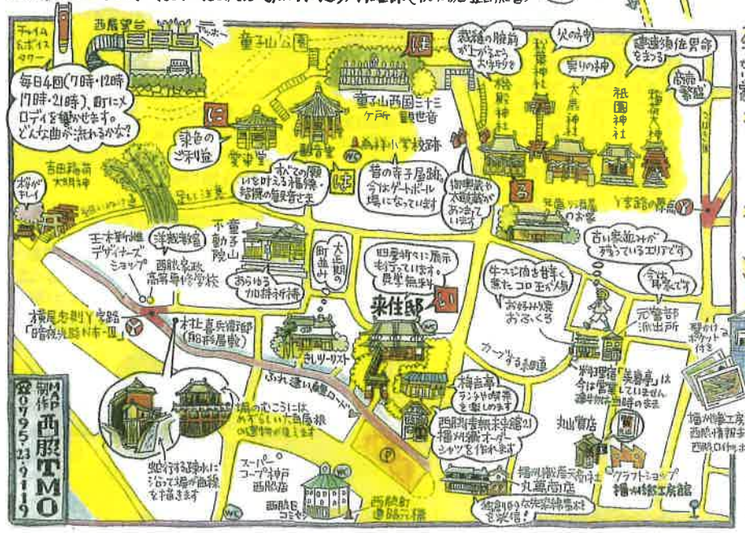
来住邸 (旧来住家住宅 / 国登録有形文化財)

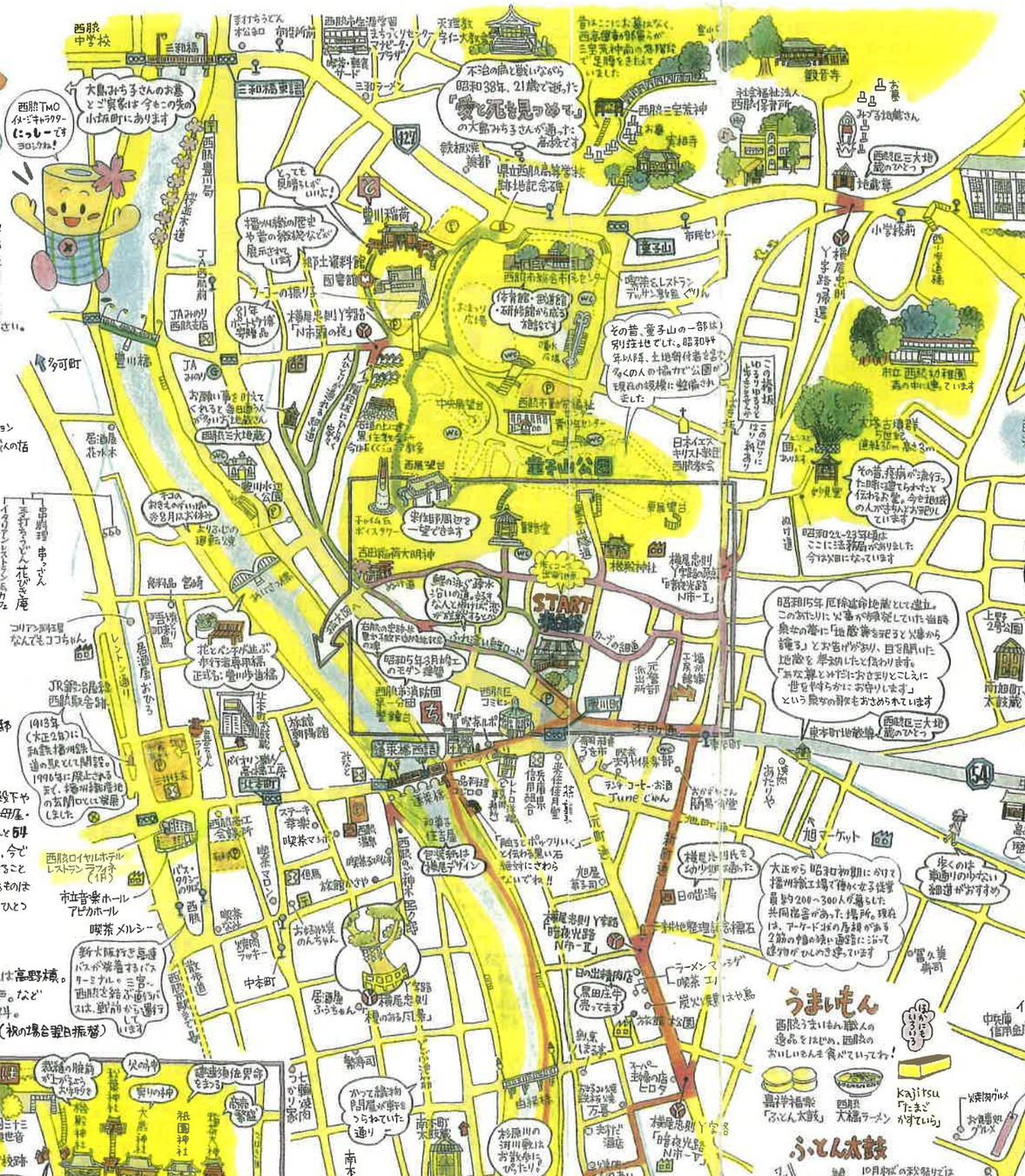
大正7年、来住梅吉氏により建てられた高級民家で、当時は朝香宮殿下や犬養毅などが よく訪れては泊まっていたといいます。建設台帳によると、母屋・離れ・庭の総建築費は当時の価格で 8万4000円。現在なら、たぶん**6億円**に相当する価格です。しかも明治40年に仕入れた木材や建物は、今では ほとんど手に入らないため、たとえ6億円を出しても 新たに建てることはできないといわれています。木材は、10年間乾燥させてわざわざ節のあるものは全て捨て、よいものだけを使用しているので、90年を経た今でも ひびみひとつ見つかりません。また、主な装飾品は次のとおり。

母屋の大戸はケヤキの一枚戸、　庭の門にはケヤキの一枚戸。
母屋を支えるケヤキの大黒柱、東床柱の大きな梁。
離れの天井には屋久島の杉板、鳳凰にはイタリア製タイル、鳳凰神には高野槙。
母屋の本体には結杯のかばち、つげの本の組み込み式の中戸とくぐり戸。など

ボランティアガイドの案内で 邸内をゆっくりと見学できます。入館無料。

☎0795・22・5549　10時～18時(10～3月は17時迄)／月曜休(祝の場合翌日振替)




西脇市役所
三和橋
三和橋東詰
西脇市産業学園
天理教
今に大教会
西脇市民会館
西脇市立図書館
西脇郵便局
西脇市立中央公民館
西脇市立中央保育所
西脇市立中央小学校
西脇市立中央幼稚園
西脇市立中央児童館
西脇市立中央図書館
西脇市立中央公園
西脇市立中央公園管理事務所
西脇市立中央公園管理センター
西脇市立中央公園管理センター
体育館・武道館・研修館から成る複合施設です
喫茶&レストラン アルカンシェル
ぐりん
横尾忠則Y字路「N市頭の夜」
横尾忠則Y字路「暗夜光路N市-Ⅰ」
横尾忠則Y字路「暗夜光路N市-Ⅱ」
横尾忠則Y字路「暗夜光路N市-Ⅲ」
横尾忠則Y字路「暗夜光路N市-Ⅳ」
横尾忠則Y字路帰還
童子山公園
START
来住邸周辺は一望できます
吉田稲荷大明神
大明神
ふれ逢い鯉ロード
鯉の泳ぐ緑水 泣いの道。なんと なんと 鯉が泳ぐ恋 が泳ぐ泳ぐ
昭和5年3月竣工のモダン建物
北とピンクが並ぶ 赤行道幕甲橋 正式名:豊川歩道橋
1913年(大正2年)に和歌山播州鉄道の駅として開設。1996年に廃止される迄、播州織産地の玄関口として繁栄しました。
西脇市消防団第一分団
西脇市立図書館
西脇市立コミセン
西脇市立中央公民館
西脇市立工業高等学校
ステーション喫茶
喫茶マロン
但馬
旅館かやの
喫茶メルシー
喫茶ルポ
喫茶ブッチー
焼肉 ブッチー
喫茶 ルポ
西脇ふれあい神社
西脇市立図書館
西脇市立中央公民館
西脇市立工業高等学校
西脇市立中央保育所
西脇市立中央小学校
西脇市立中央幼稚園
西脇市立中央児童館
西脇市立中央図書館
西脇市立中央公園
西脇市立中央公園管理事務所
西脇市立中央公園管理センター